

3 - 1. 糖尿病

➤ 疾患名：① I 型糖尿病（高血糖）

➤ アウトライン：

「29 歳女性。1 型糖尿病のため、インスリンを自己注射により使用していた。発熱（感染症の疑い）を契機に 3 日前から全身倦怠感、下痢、嘔吐が始まり、これらの症状に加えて意識障害が出現したため、家族に伴われて救急外来を受診した。アシドーシスにより血液 pH が下がり、クスマウル呼吸が確認。昏睡状態後（閉眼）、インスリン投与にて回復する。」

➤ LLEAP 情報：

- ✓ 受講者への概要：29 歳女性。1 型糖尿病のためインスリン自己注射。シックデイによる容態急変で救急外来受診。患者の状態変化と治療における効果の確認を行う。
- ✓ 学習目標：全身観察、呼吸パターン、脈拍のリズムや血液 pH の変化について理解する。
- ✓ 名前：吉野 九保子（よしの くほこ）
- ✓ 身長：160 cm
- ✓ 体重：60 Kg



（処方）

ノボラピッド注フレックスタッチ^{（注1）}

朝食前 10 単位
28 日間 皮下注

ヒューマリン R 注ミリオペン^{（注2）}

昼食前 6 単位
28 日間 皮下注

ノボラピッド注フレックスタッチ^{（注1）}

夕食前 8 単位
28 日間 皮下注

ランタス注ソロスター^{（注3）}

眠前 14 単位
28 日間 皮下注

（注 1: 超速効型インスリンアナログであるインスリンアスパルト（遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）

（注 2: 速効型インスリン注射液であるインスリンヒト（遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）

（注 3: 持続型溶解インスリンアナログであるインスリングラルギン（遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）

シムマン 3G を使用したコアカリ提示代表的 8 疾患シナリオプログラム 解説

(処方)

ヒューマリン R 注^(注 4) 50 単位
生理食塩液 49.5 mL
上記溶解後 1 mL=1 単位となった溶液をシリンジポンプで 0.1 単位/kg/時にて持続静注
(体重 50 kg の場合は 5 mL/時)
(注 4: 速効型インスリン注射液であるインスリンヒト (遺伝子組み換え) 100 単位/mL/バイアル)

メイロン 84 注^(注 5) 必要量
(必要量 (mL) は (目標 HCO_3^- -測定 HCO_3^-) × 体重 (kg) × 0.2)
(注 5: 炭酸水素ナトリウム注(8.4%)を含む注射液で 1 mEq/mL となっている)

シムマン 3G を使用したコアカリ提示代表的 8 疾患シナリオプログラム 解説

● 高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	亢進 60	標準 50
心電図	洞調律	洞頻脈	洞調律
脈拍(/min)	64 整	102 整	62 整
血圧(mmHg)	121/60	92/40	121/60
呼吸数(/min)	12	6	12
SpO ₂ (%)	98	95	98
体温(°C)	37.3	37.2	36.6
その他 (痙攣)		○	
その他 (pH)	7.45	6.97	7.45
その他 (閉眼)		○	
声 (下痢で。お腹が痛い)	○		
声 (クスマウル呼吸) 単独		○	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量 (%) を示している。